

研修会報告

2021年10月21日(木)14:00~15:30 オンライン開催
第11回 ワールド・カフェ♪
「病院と在宅との連携について～地域で生きるために～」

西区内 地域医療連携室の方をお迎えし、「退院時カンファレンスの現状と問題について」を報告を頂きました。後、ZOOMのブレイクアウトルームを活用して、1グループ4~5人で、3ラウンド話し合いを実施。各グループに、西区病院連携連絡会の方々にファシリテーターとしてご参加頂きました。発表では、各職種8名様にラウンドの様子・感想等を伝えて頂きました。参加者:37名

報告：「退院時カンファレンスの現状と問題について」
兵庫県立リハビリテーション中央病院 医療福祉相談室長 阿部解子氏



報告では、“カンファレンス”に参加された事がない方が、カンファレンスをイメージできる様に、具体的に最近の現状と、内容・問題点の説明を頂きました。カンファレンスに参加した事がない方には、どの様な会議なのかイメージして、次のグループワークに入ることができたと思います。また、日頃参加されている方々は、地域医療連携室の現状を改めて知る機会になりました。

グループワークでは、ラウンド毎にメンバー・テーマを変更し、
①「地域医療連携室について思うこと」
②「病院と多職種連携について思うこと」
③「患者さん・利用者の地域生活をふまえて退院支援を行うには」
を、話し合いました。右側がラウンドの一部です。皆様、楽しく有意義な時間を過ごされた様子でした。



病院からの情報(入れたり出したり)と調整が難しい状態に陥った時に必要なサービスが食い違うことがある。

利用者様の意向を第一に考え、在宅での生活が成り立つ環境を整えることが大切。在宅での生活が成り立つ環境を整えることが大切。在宅での生活が成り立つ環境を整えることが大切。

退院の目安が短い。病院で介護保険申請書類が提出できない状態。在宅での生活が成り立つ環境を整えることが大切。

上から「第1、第2、第3ラウンドまとめ」※ラウンド用紙提出ご協力ありがとうございました。

【参加者からの感想】(アンケート一部抜粋)

- 薬剤師)・他の職種の方の困り事など、考えが聞けて参考になりました。
- ・薬剤師は、薬が中心で少し疎外感を感じていましたが、少し考えが変わりました。
- 看護師)・話し合いの大切さ、共有、すり合わせの重要性を学びました。
- ・多職種の視点の違い・意見を踏まえて、今後連携を行いたいと改めて思った。
- ケアマネジャー)・情報の共有方法もですが、伝える項目を再度検討しようと思いました。
- ・情報共有する場が大切。
- あんしんすこやかセンター)・情報共有の大切さ。在宅をイメージして退院支援が必要であり、環境が変わることによって本人の気持ちも変わるということを感じた。

～多数のご意見ありがとうございました～

※オンライン研修会参加に不安がある方はご相談下さい。西区医療介護サポートセンター電話078-797-7830まで。